

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2013-80613(P2013-80613A)

【公開日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2011-219914(P2011-219914)

【国際特許分類】

H 0 1 M 8/02 (2006.01)

H 0 1 M 8/18 (2006.01)

H 0 1 M 8/24 (2006.01)

H 0 1 M 8/04 (2006.01)

【F I】

H 0 1 M 8/02 L

H 0 1 M 8/18

H 0 1 M 8/24 E

H 0 1 M 8/04 L

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月17日(2014.9.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

枠体と、前記枠体に一体化された双極板と、を備え、  
前記枠体は、

前記枠体に貫通して設けられ、正極電解液が流通する正極用給液マニホールド、および正極用排液マニホールドと、

前記枠体の一面側に設けられ、前記正極用給液マニホールドから前記双極板の一面側に配される正極電極に前記正極電解液を導入する正極側入口スリット、および前記正極電極から前記正極用排液マニホールドに前記正極電解液を排出する正極側出口スリットからなる正極電解液用流路と、

前記枠体に貫通して設けられ、負極電解液が流通する負極用給液マニホールド、および負極用排液マニホールドと、

前記枠体の他面側に設けられ、前記負極用給液マニホールドから前記双極板の他面側に配される負極電極に前記負極電解液を導入する負極側入口スリット、および前記負極電極から前記負極用排液マニホールドに前記負極電解液を排出する負極側出口スリットからなる負極電解液用流路と、を有するセルフフレームであって、

前記正極電解液用流路の構造と、前記負極電解液用流路の構造と、が異なり、

かつ前記正極電解液用流路と、前記負極電解液用流路と、が互いに連通していないこと  
を特徴とするセルフフレーム。